

AGI 東アジア12カ国・地域経済動向

東アジア12カ国・地域の経済動向を、主要統計のグラフとアジア成長研究所（AGI）の研究員による解説とともにお知らせいたします。

グラフの読み方

図1：実質GDPとGDPデフレータの伸び率 一国経済の基本的な経済動向を読む

- 実質GDP 国内総生産（GDP：Gross Domestic Product）は、国内で生み出された財・サービスの付加価値の総計である。GDPには名目値と実質値があり、そのうち実質GDPの伸び率は経済成長を測る代表的な指数である。
- GDPデフレータ 名目GDPを実質GDPで除した値として計算される。その伸び率は、名目GDPの価格上昇分を表し、インフレの程度を知ることができる。GDPデフレータのプラスの伸び率が高いほどインフレ傾向にあり、マイナスの伸び率が高いほどデフレ傾向にある。

図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率 政府の金融政策と景気の間を読む

- 貨幣供給量 経済全体に流通している貨幣の総量。通常、金融政策は中央銀行が貸出や公定歩合操作、債券売買や外為市場介入等を行うことによって実施される。金融政策により貨幣供給量が増加すれば、短期的には経済が拡大するが、長期的には貨幣価値が下がるので物価の上昇を招きやすい。M1とは現金の流通額と預金（当座預金、普通預金等）を合わせたもので、M2はM1に定期預金、外貨預金等を合わせたものである。
- 国内信用 銀行部門の貸出等（信用）の総額。政府向け信用と民間向け信用に大別される。政府向け信用は主に銀行の国債保有残高、民間向け信用は主に企業向け貸出額にあたる。この伸び率が高ければ、国内市場に循環する資金が増加したことを示す。なお、一部の国では国内債権（Domestic Claims）を使用している。

図3：消費者物価指数、株価指数、為替レート指数 インフレと景気動向を読む

- 消費者物価指数 消費者が購入する財・サービスの価格を加重平均したもの。インフレの程度を測る代表的な指数である。指数が上昇すればインフレ傾向にあり、下落すればデフレ傾向にある。
- 株価指数 株式市場の上場銘柄全体の値動きを表す指標である。景気（および人々の期待）の動向を知ることができる。指数の継続的な上昇は好況を、継続的な下降は不況を示唆する。
- 為替レート指数 本国通貨と米ドルとの交換レート（ドル/本国通貨）。指数の上昇は本国通貨高、下落は本国通貨安を示す。本国通貨高は輸入価格の下落により、輸入がしやすくなる一方、対外的に見て、輸出価格が上昇するので輸出が難しくなる。

図4：輸出額と輸入額 対外経済部門の動向を読む

- 輸出額 輸出数量×輸出価格。輸出は外貨獲得の重要な手段である。
- 輸入額 輸入数量×輸入価格。資本財や中間財の輸入は国内の生産能力を増大させ、消費財の輸入は消費者の満足度を高める。



公益財団法人

アジア成長研究所

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4 / TEL: 093-583-6202 / URL: <https://www.agi.or.jp>

日本の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

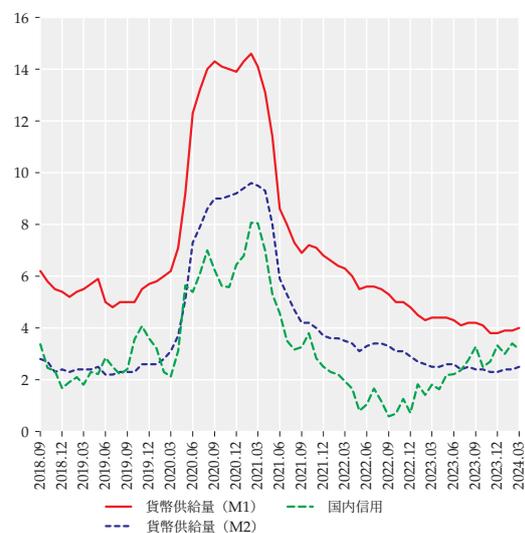


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

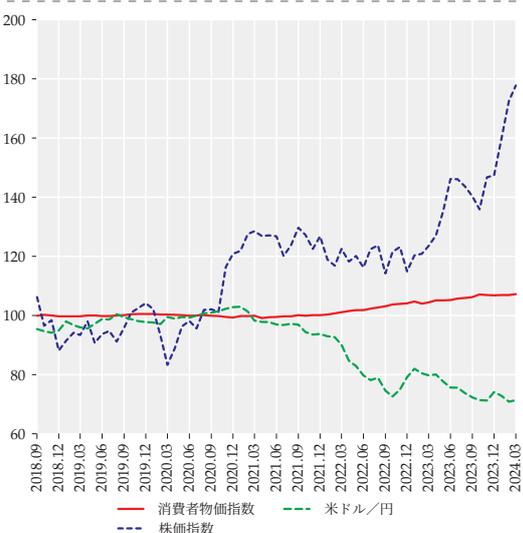
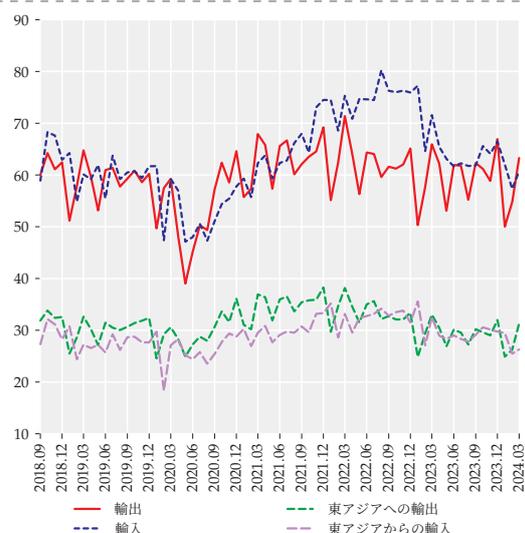


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



日本経済の動向 (2024年第1四半期)

2024年第1四半期の実質 GDP の伸び率は前期 (1.2%) から減速し、 -0.2% となった (前年同期比、速報値)。民間最終消費支出が前年同期比で -1.9% と前期 (-0.7%) よりも減速したほか、民間企業設備投資も -1.0% となり、内需が低迷している。民間最終消費は、物価の上昇に賃上げが追いついていないこと等により、3 四半期連続のマイナスとなった。また、歴史的な円安水準が今後の消費拡大に水を差すことも懸念される。貿易は低調であり、第 4 四半期の輸出額および輸入額はそれぞれ前年同期比で 1.4% と -4.2% となった。一部自動車メーカーの品質不正問題による出荷停止などの影響により輸出は下振れたが、今後は自動車生産の正常化、循環的な財需要の回復、インバウンド需要の拡大、世界的な半導体需要の回復などに支えられ、輸出は持ち直す見通しである。

(小松 翔)

中国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

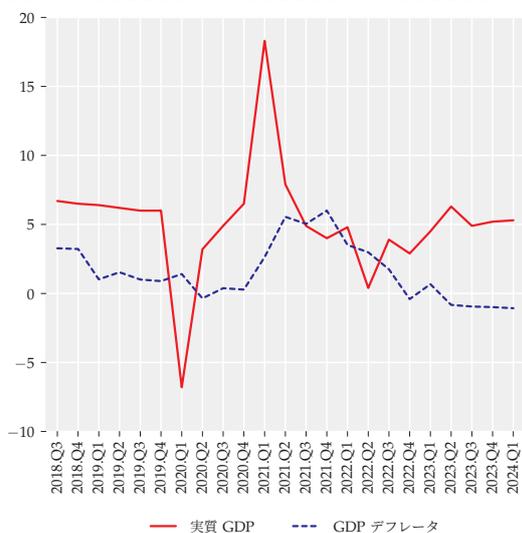


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

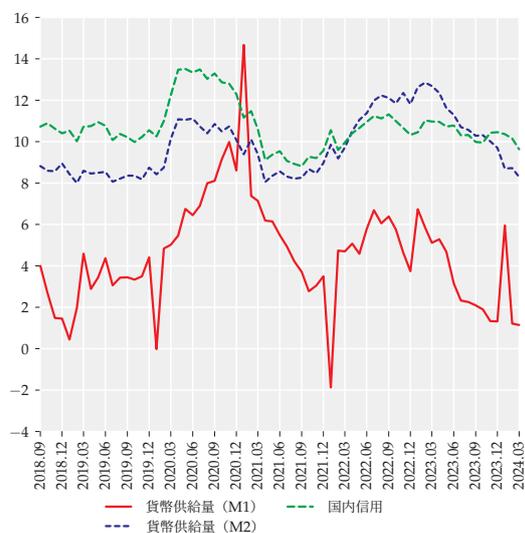


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

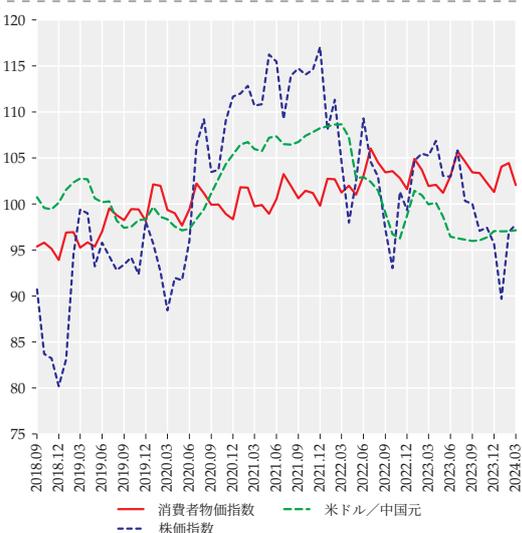


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



中国経済の動向 (2024年第1四半期)

第1四半期の実質 GDP の伸び率（前年同期比）は 5.3 %で、前期の 5.2 %を上回った。産業別の成長率をみると、第一次・第二次・第三次産業はそれぞれ 3.3 %、6.0 %、5.0 %であった。支出側の成長率への貢献度をみると、国内最終消費は 73.7 %、固定資本形成は 11.8 %、純輸出は 14.5 %を寄与している。輸出の好転やインフラ投資を中心とする景気刺激策の実施に伴い、第二次産業の回復が見られ、付加価値額は前年同期比で 6.0 %増加した。サービス業も堅調に伸び、付加価値額は前年同期比 5.0 %増となった。景気刺激策として、預金準備率・貸出優遇金利引き下げや超長期特別国債の発行、更新投資・耐久財買い替え策等の政策が相次いで打ち出され、市場への信頼感が強化された。一方で、固定資産投資（前年同期比 4.5 %増）のうち民間投資はわずか 0.5 %の増加にとどまった。「国進民退」が加速し、長期的に経済成長の減速に拍車がかかる可能性が懸念されている。また、不動産投資は 9.5 %低下した。不動産不況が長引き、迷走が続いている。（彭 雪）

香港の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

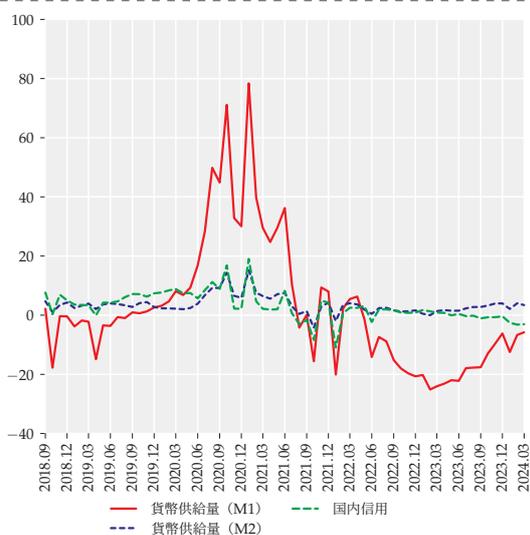


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

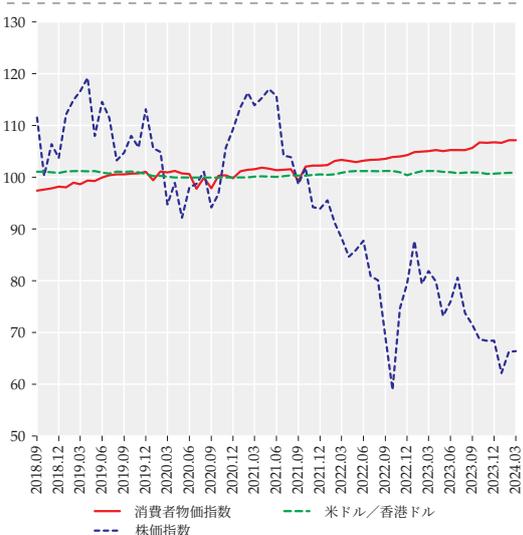
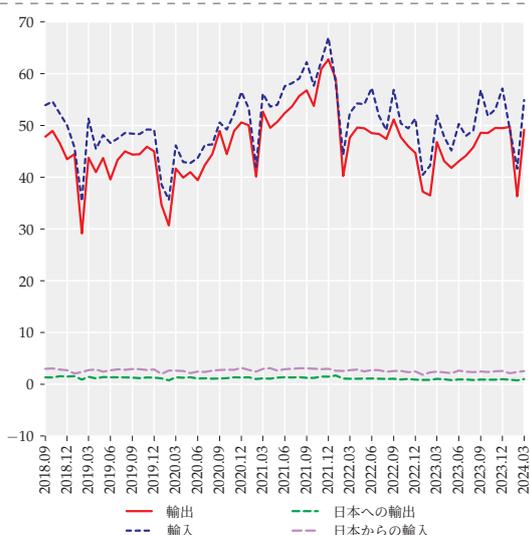


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



香港経済の動向 (2024年第1四半期)

香港の2024年第1四半期の対前年同期比実質 GDP 伸び率は2.7%になり、前期(2023年第4四半期)の4.3%から若干減速した。第1四半期のGDP支出側構成別成長率をみると、民間消費は1%伸びた(前期は3.5%増)が、政府消費は3.0%減少した(前期は5.2%減)。また、固定資産形成は0.3%と前期の17.5%増から大きく減速した。一方、主に中国本土やASEAN・インドなど新興国の需要牽引で、第1四半期の香港の貨物輸出とサービス輸出は好調で、それぞれ6.8%と8.4%伸びた(前期はそれぞれ2.8%増と21.2%増)。貨物輸入とサービス輸入も、それぞれ3.3%と17.2%伸びた(前期は3.8%増と26.7%増)。なお、第1四半期の失業率と消費者物価上昇率は、それぞれ3.0%と1.0%となり安定した低水準を維持している。香港政府は5月17日に、2024年通年の実質 GDP 成長率について、前回と同様の予測値(2.5~3.5%)を公表した。

(戴 二彪)

韓国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

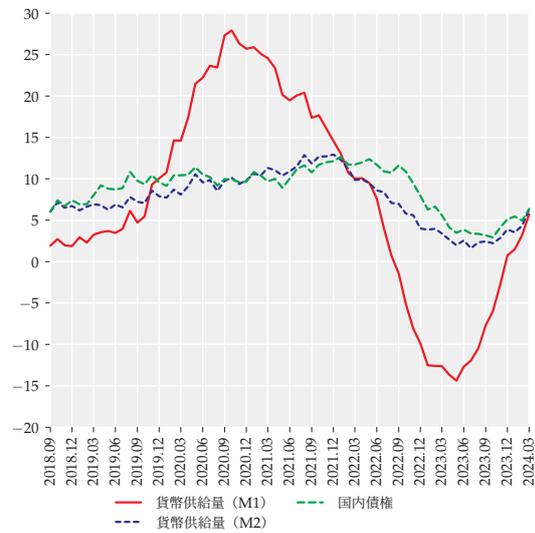


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

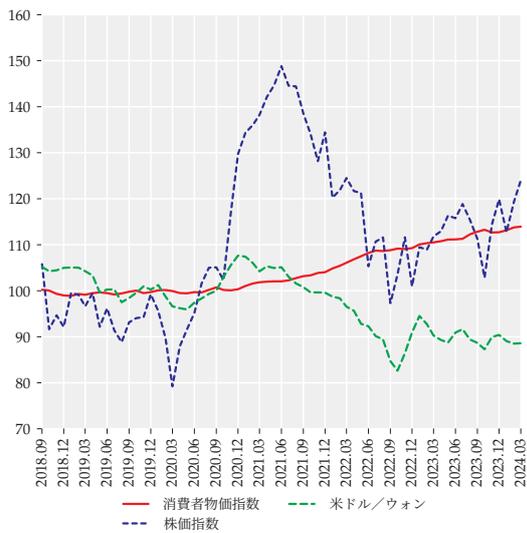
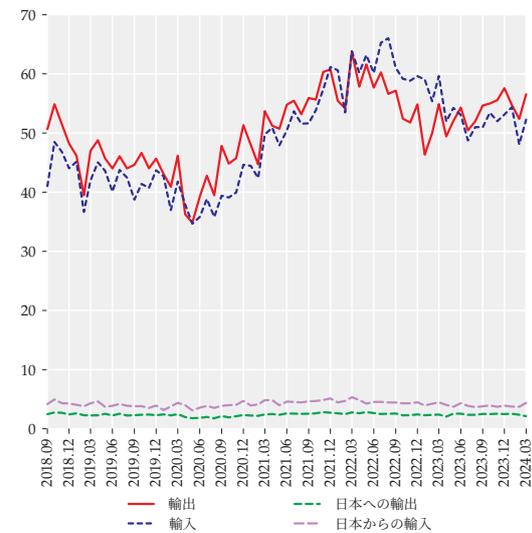


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



韓国経済の動向 (2024年第1四半期)

韓国の2024年第1四半期の実質 GDP の伸び率(前年同期比, 以下同じ)は3.38%で, 前期から約1.2%ポイント上昇した。3月末の株価指数は2,746.63, 1米ドル=1,330.69ウォンであった。株価は上昇し, ウォン相場は下落した(去年12月末の同指標は2,655.28, 1,303.98ウォン)。また, 3月末消費者物価指数(CPI)は113.94で, 昨年末から約3%伸びた。第1四半期の韓国経済は, ITセクターの好転と主要国の景気回復に支えられ輸出の伸びが堅調に推移し, 国内消費の伸び率も上方修正されたことから, 全般的に良好なペースで改善した。しかし, 今後の見通しについては, 物価の動向, 主要国の金融政策, IT産業の拡大ペース, 世界的な原油価格, 為替動向などの影響で, 不確実性が高い。(柯 宜均)

台湾の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

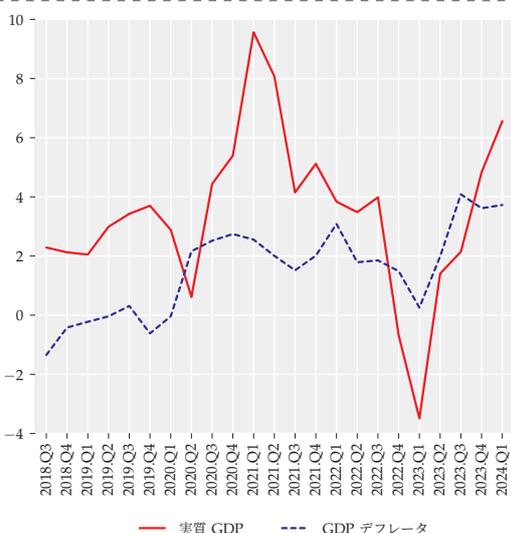


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

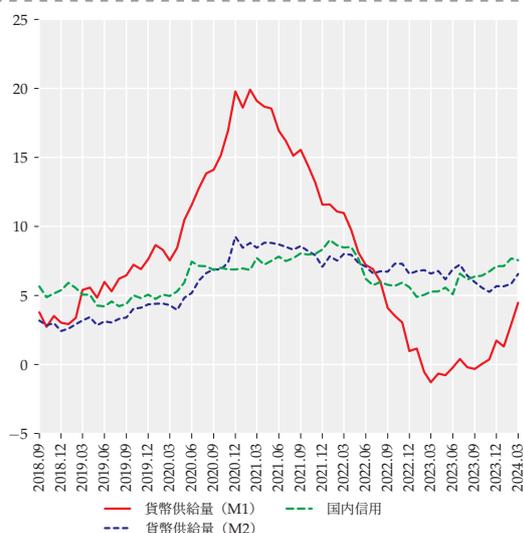
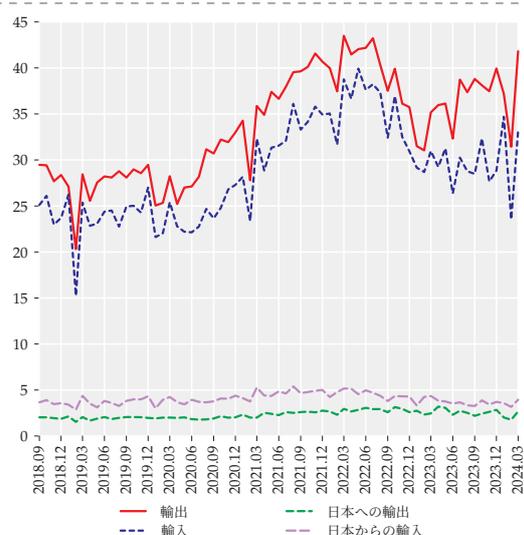


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



台湾経済の動向 (2024年第1四半期)

台湾の2024年第1四半期の実質 GDP の伸び率（前年同期比，以下同じ）は6.56%で，前期の4.83%から上昇した。3月末の株価指数は20,294.45，1米ドル=31.69台湾ドルであった。株価は上昇し，台湾ドル相場は下落した（去年12月末の同指標は17,930.81，31.28台湾ドル）。国際貿易では，輸出の伸び率が前四半期の3.34%から13.01%へと大幅に改善した。輸入は2.89%増加し，伸び率がプラスになったのは2022年第3四半期以来であった。これは，AIなどの新興テクノロジーのビジネスチャンスの拡大と通信製品の外販の回復によるものである。3月末の消費者物価指数（CPI）は106.55であり，その伸び率は緩やかな低下傾向を維持している。将来の不確実性として，中東などの地政学的リスクの高まりや主要国の中央銀行の金融政策の転換時期などが挙げられ，これらは台湾の貿易・投資に影響を与える可能性がある。（柯 宜均）

インドネシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

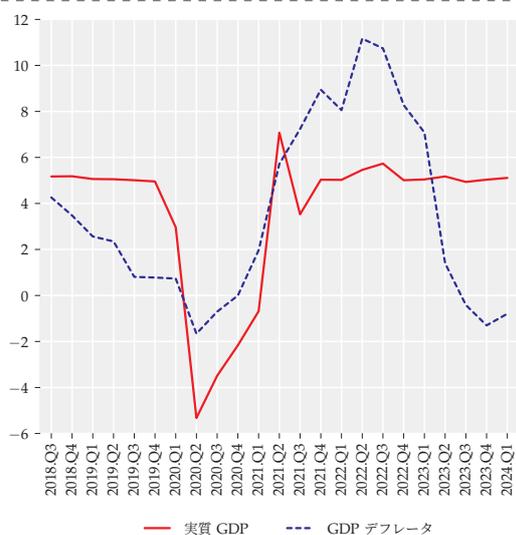


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

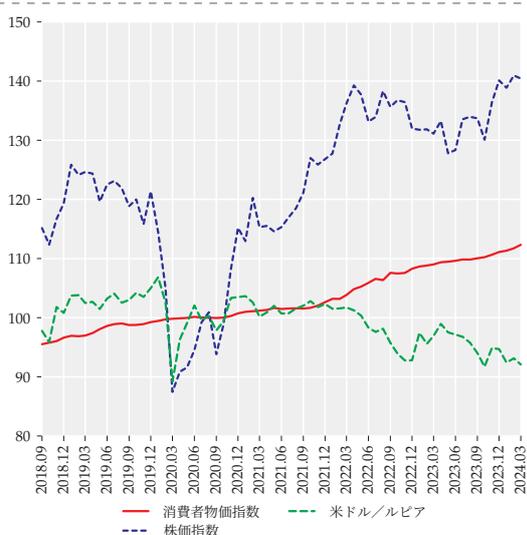
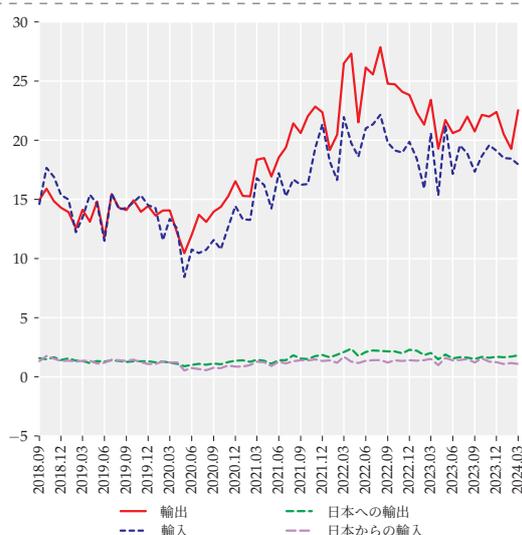


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



インドネシア経済の動向 (2024年第1四半期)

インドネシア経済は堅調な内需を背景に高い水準での成長を維持している。2024年第1四半期の実質 GDP 成長率は2期連続で加速し前年同期比で5.11%となった。GDPの2分の1を占める家計最終消費支出が前期(4.47%)から加速し4.91%となり堅調を維持したほか、政府消費支出も19.90%と高い伸びを示した。また総固定資本形成は3.79%、輸出は0.50%、輸入は1.77%それぞれ増加した。産業別に見ると、GDPの2割を占める製造業が4.13%と前期(4.07%)から加速したほか、宿泊・飲食業(9.39%)、運輸・倉庫業(8.65%)、情報・通信業(8.39%)などが高い成長を記録した。3月の物価上昇率が7カ月ぶりに3%を超え、中央銀行は4月24日に政策金利を6カ月ぶりに引き上げ6.25%としている。OECD理事会は、2024年2月20日にインドネシアとの加盟協議を開始することを決定していたが、5月20日に「加盟ロードマップ」を採択した。加盟が実現すれば、アジアでは日本、韓国に次いで3カ国目の加盟国となる。(田村一軌)

マレーシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

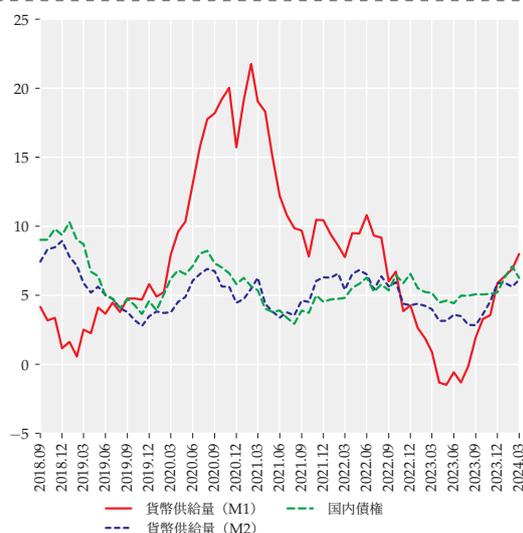


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

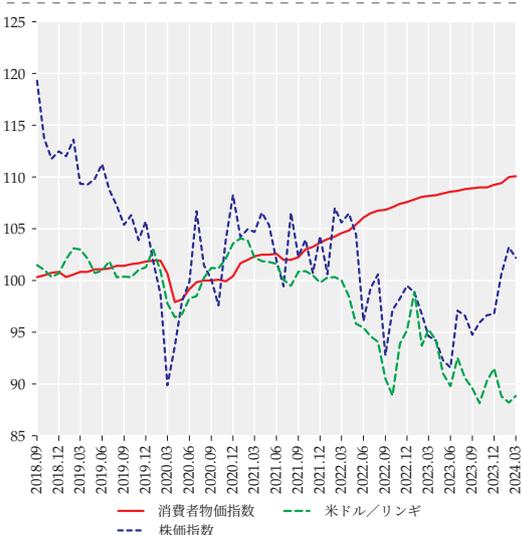
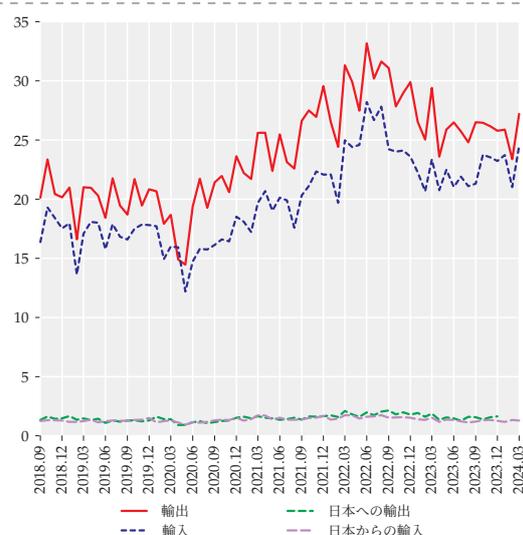


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



マレーシア経済の動向 (2024年第1四半期)

2024年第1四半期のGDP成長率は4.2%であった。民間支出の増加と輸出の好転が成長を牽引した。雇用と賃金が引き続き増加し、家計支出が増加した。投資の改善は、民間部門と公的部門の双方による設備投資の増加に支えられた。当期の総合インフレ率は1.7%と、前期(1.6%)の緩やかな水準を維持した。コア・インフレ率は1.8%(前期:2%)に下落したが、これは主に食品・飲料部門の継続的な下落による。年初来、リンギットは米ドルに対して2.4%下落した。民間非金融部門向け与信の伸びは5.2%(同:4.8%)に増加した。企業向け貸出残高(4.9%、前期:3.7%)と家計向け貸出残高(6.2%、前期:5.7%)がともに増加したことによって支えられた一方、社債残高の伸びはより緩やかなペース(3.2%、前期:4.2%)にとどまった。2024年のマレーシアの成長は、外需の回復による追加的な支援とともに、底堅い内需支出によって牽引されるだろう。国内面では、雇用と賃金の継続的な伸びが家計支出を支えるだろう。(アルバロ・ドミンゲス)

フィリピンの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

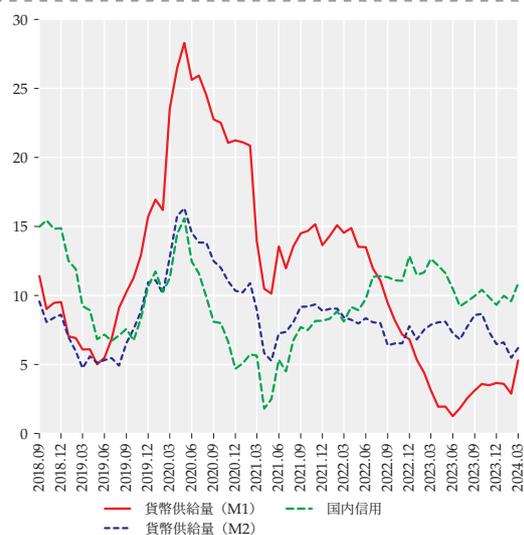


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

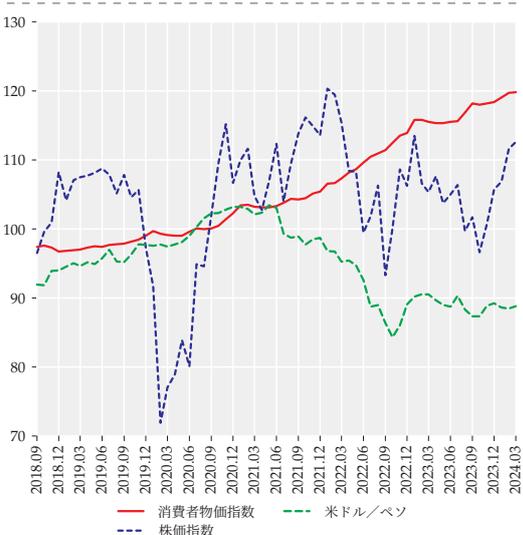


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



フィリピン経済の動向 (2024年第1四半期)

フィリピン経済の2023年通年の実質 GDP 伸び率は5.6%であった。2024年第1四半期は5.7%と、依然高成長を維持している。2024年第1四半期の実質 GDP 需要項目別では、前年同期比の伸び率で、GDP の75%を占める民間最終消費支出は4.6% (前期は5.3%) と鈍化し、他方で政府最終消費支出は1.7% (前期は-1.0%) と増加した。総固定資本形成は2.3% (前期は10.2%) と大幅に減少した。財・サービスの輸出は7.5% (前期は-2.5%) と急増し、財・サービスの輸入は2.3% (前期は2.0%) と微増している。第1四半期の伸び率を産業別にみれば、第一次産業は0.4% (前期は1.3%) と減少し、第二次産業は5.1% (前期は3.1%) と持ち直した。GDP の62%を占める第三次産業は6.9% (前期7.4%) とやや低下した。その中では、宿泊・飲食業13.9%、金融・保険業10.0%の伸びが大きく、専門・ビジネスサービス業7.5%、卸売・小売業6.4%も堅調であった。

(岸本千佳司)

シンガポールの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

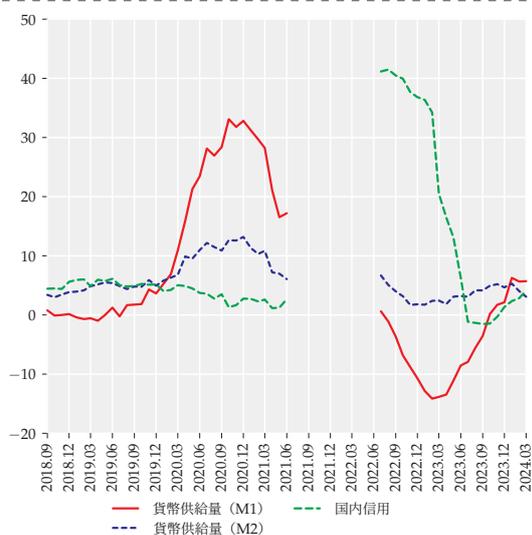
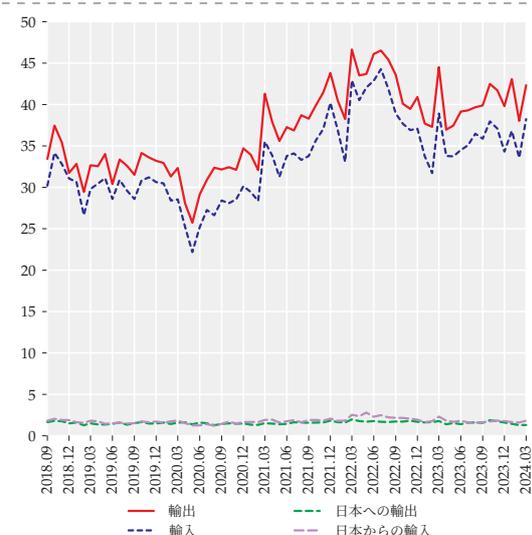


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



シンガポール経済の動向 (2024年第1四半期)

2024年第1四半期の実質 GDP は前年同期比で 2.7 %増加した。製造業は 1.8 %減となり、前期の 1.4 %増から反転した。同部門の不振は主に、バイオメディカル製造、電子機器製造、一般製造クラスターの生産減少による。卸売業は 1.5 %増となり、前期の 0.2 %増を上回った。宿泊部門は 14.4 %拡大し、前期の 1.5 %拡大から大きく加速した。同部門の成長は、中国との相互ビザ免除協定もあり、外国人観光客の大幅な回復によって後押しされた。米国の成長見通しは、労働市場の回復力と AI 主導の投資ブームにより若干改善した。さらに、中国の GDP 成長は、政府による支援策の拡充により、当初の予想よりも強まる可能性が高い。しかし、中東における地政学的緊張やウクライナ戦争は、世界のサプライチェーンや商品市場を混乱させる可能性がある。このような背景から、シンガポールの製造業と貿易関連セクターは年内は緩やかな成長回復が見込まれる。MTI は、2024 年の GDP 成長率を 1~3 %と予測している。(アルバロ・ドミンゲス)

タイの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

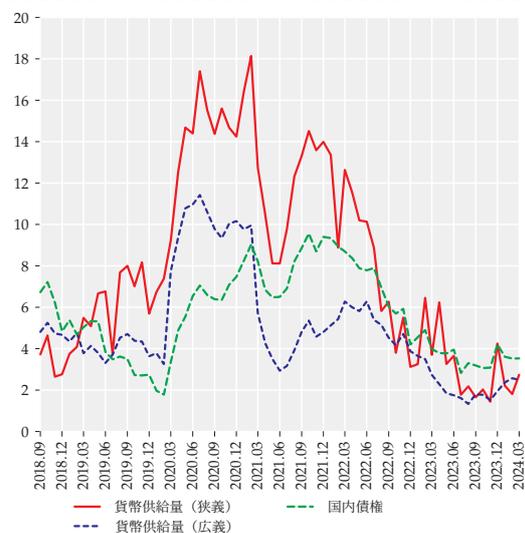


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



タイ経済の動向 (2024年第1四半期)

2024年第1四半期のGDP成長率は、前期の1.7%から1.5%に低下した。支出面では、サービス輸出と民間消費が堅調に伸びたものの、財の輸出は2.0%減少し、公共投資は27.7%縮小、政府消費支出は2.1%減少した。生産面では、宿泊・飲食サービス業が11.8%増、運輸・倉庫業が9.4%増と加速した。一方、製造業は3.0%減、建設業は17.3%減、農林水産業は3.5%減とそれぞれ縮小した。農林水産業の縮小は、前年同期と比較して天候不順と水位低下が主な要因であった。タイ国家経済社会開発委員会は、政府支出と公共投資の勢いの高まり、観光部門の回復、民間消費と投資の堅調な伸び、世界貿易の回復に伴う財輸出の拡大などにに基づき、2024年の経済成長率は前年の1.9%から2.0~3.0%拡大すると予測している。ただし、家計と企業の債務残高の高止まり、洪水による農業生産へのリスク、不確実で変動の大きい世界金融市場などの影響で、予想を下回る成長につながる可能性がある。(姚 瑩)

ベトナムの経済指標

図1：実質 GDP の伸び率

(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率

(前年同月比, %)

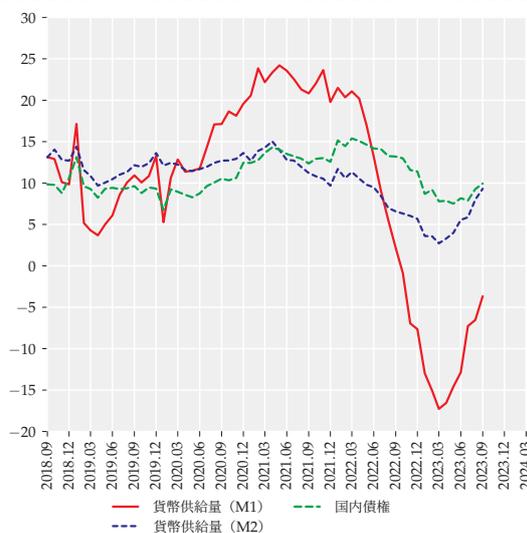


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数

(2020年=100)

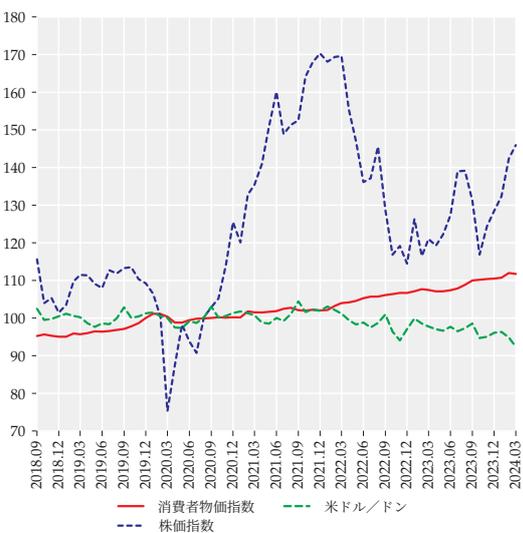


図4：輸出額と輸入額

(10億米ドル)



ベトナム経済の動向 (2024年第1四半期)

2024年第1四半期、ベトナムのGDPは前年同期比で5.66%増加し、2020~2023年における同四半期の成長率を上回った。農林水産業は2.98%増となりGDP全体の成長に6.09%寄与し、工業・建設業は6.28%増で41.68%寄与した。サービス部門は6.12%増で、GDPの成長に52.23%寄与した。農業部門では多年生作物と畜産物の生産高が改善し、養殖業もプラス成長を示した。工業生産では、鉱業が減少したものの、製造業と電力生産が大きく伸びたことで、勢いを維持した。サービス部門は、堅調な貿易活動と観光業の回復から恩恵を受けた。この時期の経済構造は、農林水産業が11.77%、工業・建設業が35.73%、サービス業が43.48%であった。また、GDPの支出側構成からみると、国内消費、固定資産形成、国際貿易(純輸出)が2024年第1四半期のベトナムのGDP成長に貢献した。

(グエン・フン・トウ・ハン)

インドの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

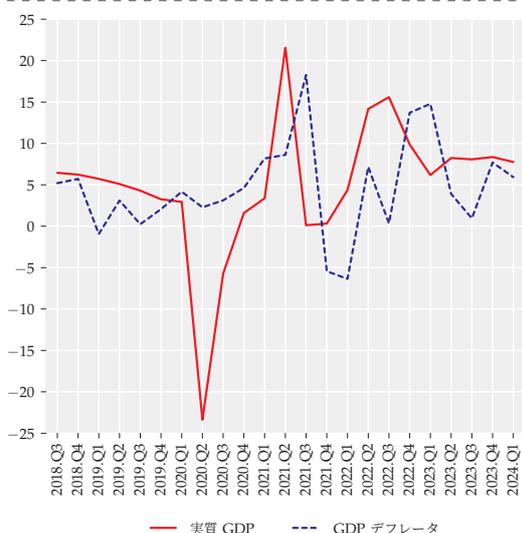


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

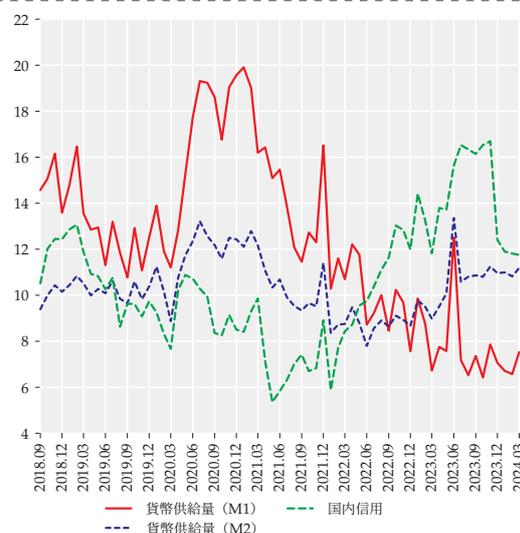


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

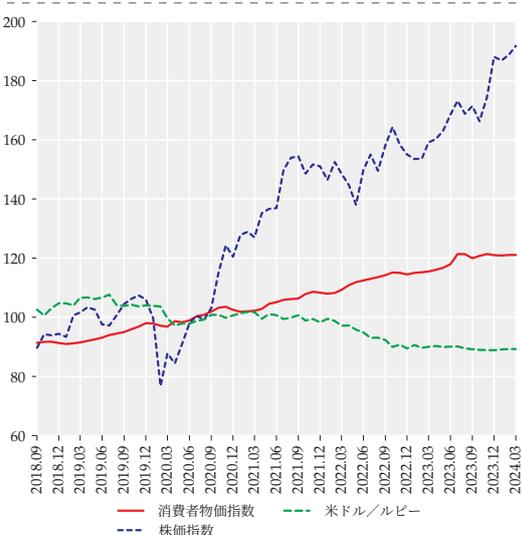
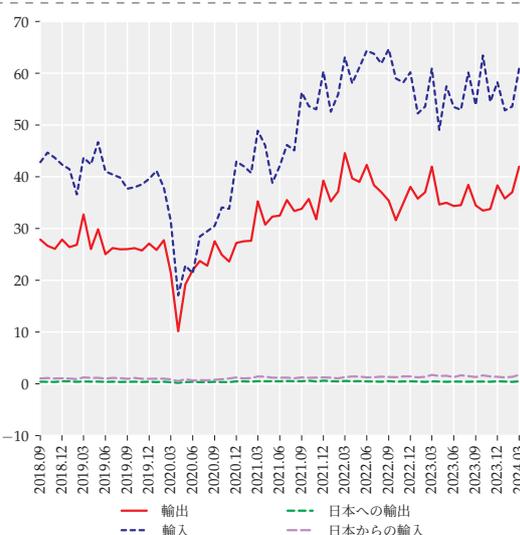


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



インド経済の動向 (2024年第1四半期)

2024年第1四半期の実質 GDP 成長率は前年同期比で7.8%、2023-2024年度の年間 GDP 成長率の見通しは8.2%となった。部門別ではサービス業が経済に大きく貢献した。金融・不動産・専門サービス業は前年同期の8.5%から12.2%に加速した。貿易・宿泊・運輸・通信部門も、前年の25.7%からは減速したものの、9.2%の成長を記録した。消費面では、政府最終消費支出は0.71%縮小したが、民間最終消費支出は5.9%拡大した。投資面では、設備投資を示す国内総固定資本形成が、前年同期の20%を大きく下回ったものの7.95%増加した。今期の輸出は前年同期比で8%縮小したが、年間では前年度と同水準を維持した。格付機関ムーディーズ・レーティングスは、インドの経済モメンタムは堅調だが、モンスーンの降雨量不足や2023年後半からのエルニーニョの影響により、食料・農産物価格の上昇リスクがあると指摘している。インド準備銀行も、物価上昇と天候リスクを考慮し、金融緩和に慎重な姿勢を維持するとみられる。(姚 瑩)

図に関するデータの出所および注

日本：

- 図 1 内閣府経済社会総合研究所 (<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>)
- 図 2 日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 3 消費者物価指数：総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/cpi/index.html>)；株価指数：日本経済新聞社，日経平均プロフィール (<https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/profile?idx=nk225>)；為替レート指数：日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 4 財務省 (<https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm>)；東アジアは中国，香港，韓国，台湾，インドネシア，マレーシア，フィリピン，シンガポール，タイ，ベトナムの合計

中国：

- 図 1 China, National Bureau of Statistics, *Statistical Database* (<https://www.stats.gov.cn/english/Statisticaldata/>)
- 図 2, 図 3 China, Statistics and Analysis Department, The People's Bank of China (<http://www.pbc.gov.cn/diaochatongjisi/116219/index.html>)
- 図 3 消費者物価指数：China, National Bureau of Statistics, *Statistical Database* (<https://www.stats.gov.cn/english/Statisticaldata/>)
- 図 4 China, General Administration of Customs, *Statistics / Monthly Bulletin* (<http://english.customs.gov.cn/statics/report/monthly.html>)

香港：

- 図 1, 図 4 Hong Kong, Census and Statistics Department, *List of All Statistical Products* (https://www.censtatd.gov.hk/en/page_1273.html)
- 図 2, 図 3 Hong Kong, Monetary Authority, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.hkma.gov.hk/eng/market-data-and-statistics/monthly-statistical-bulletin>)

韓国：

- 図 1, 図 2, 図 3, 図 4 Korea, Bank of Korea (<https://ecos.bok.or.kr>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EKS11/history>)

台湾：

- 図 1 Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/cl.aspx?n=2332>)
- 図 2 Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-511-2069-A8BEF-2.html>)
- 図 3 消費者物価指数：Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/cp.aspx?n=2327>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5ETWII/history>)；為替レート指数：Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-480-58819-C8475-2.html>)
- 図 4 Republic of China, Customs Administration, Ministry of Finance, *CPT Single Window, Statistical Database Query* (<https://portal.sw.nat.gov.tw/APGA/GA30E>)

インドネシア：

- 図 1 Indonesia, Statistics Indonesia, *Statistics by Subject* (<https://www.bps.go.id/en/statistics-table?subject=531>)
- 図 2 Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Economic and Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EJKSE/history>)；消費者物価指数：Indonesia, Statistics Indonesia, *Statistics by Subject* (<https://www.bps.go.id/en/statistics-table?subject=536>)；為替レート：Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Economic and Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 4 Indonesia, Statistics Indonesia, *National Export Import Data* (<https://www.bps.go.id/en/exim>)

マレーシア：

- 図 1 Bank Negara Malaysia, *National Summary Data Page for Malaysia* (<https://www.bnm.gov.my/national-summary-data-page-for-malaysia>)
- 図 2, 図 3 Bank Negara Malaysia, Bank Negara Malaysia, *Monthly Highlights and Statistics* (<https://www.bnm.gov.my/publications/mhs>)
- 図 2 国内債権：International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図 3 株価指数：Bloomberg (<https://www.bloomberg.co.jp/quote/FBMKLCI:IND>)
- 図 4 Malaysia, Department of Statistics, *Malaysia External Trade Statistics* (<https://metsonline.dosm.gov.my/>)

フィリピン：

- ☒ 1 Philippines, Philippine Statistics Authority, *National Accounts* (<https://psa.gov.ph/statistics/national-accounts>)
- ☒ 2 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Financial System Accounts* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Financial%20System%20Accounts.aspx?TabId=3>)
- ☒ 3 消費者物価指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – Prices* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Prices.aspx?TabId=1>)；為替レート指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – External Account* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/External.aspx?TabId=9>)；株価指数：Yahoo Finance (<https://finance.yahoo.com/quote/PSEI.PS/history>)
- ☒ 4 Philippines, Philippine Statistics Authority, *Foreign Trade* (<https://psa.gov.ph/statistics/foreign-trade>)

シンガポール：

- ☒ 1 Singapore, Department of Statistics (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/national-accounts>)
- ☒ 2 Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Money-and-Banking.aspx>)；シンガポール金融管理局が2021年7月から統計の集計方法を変更したため、それ以降2022年6月までの前年同月比を計算していない。
- ☒ 3 消費者物価指数：Singapore, Department of Statistic, (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/prices-and-price-indices>)；株価指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Financial-Markets.aspx>)；為替レート指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Exchange Rates* (<https://www.mas.gov.sg/statistics/exchange-rates>)
- ☒ 4 Singapore, Department of Statistic (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/trade-and-investment/merchandise-trade>)

タイ：

- ☒ 1 Thailand, National Economic and Social Development Council, *National Account* (https://www.nesdc.go.th/nesdb-en/main.php?filename=national_account)
- ☒ 2 Thailand, Bank of Thailand, *Statistics* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/monetary-statistic.html>)
- ☒ 3 消費者物価指数：Thailand, Ministry of Commerce, Bureau of Trade and Economic Indices (http://www.price.moc.go.th/en/home_en)；株価指数：Thailand, The Stock Exchange of Thailand, *Market Statistics* (<https://www.set.or.th/en/market/statistics/market-statistics/main>)；為替レート指数：Thailand, Bank of Thailand, *Statistics* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/external-sector.html>)
- ☒ 4 Thailand, Bank of Thailand, *Statistics* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/external-sector.html>)

ベトナム：

- ☒ 1 Vietnam, General Statistics Office, *National Accounts* (<https://www.gso.gov.vn/en/national-accounts/>)
- ☒ 2 International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- ☒ 3 消費者物価指数および為替レート：Vietnam, General Statistics Office, *Consumer price index archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/cpi/>)；株価指数：Fusion Media, *Investing.com* (<https://www.investing.com/indices/vn-historical-data>)
- ☒ 4 Vietnam, General Statistics Office, *Thematic Data, Import-Export archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/import-export/>)

インド：

- ☒ 1 India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)
- ☒ 2, ☒ 3, ☒ 4 Reserve Bank of India, *RBI Bulletin* (https://www.rbi.org.in/Scripts/BS_ViewBulletin.aspx)
- ☒ 3 2021年2月の消費者物価指数：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EBSESN/history>)
- ☒ 4 日本との輸出入：India, Ministry of Commerce and Industry, *System on India's Monthly Trade* (<https://tradestat.commerce.gov.in/meidb/>)